



かつやま

2 No.663
月号



こちょこちょにこにこ

3月5日、北郷わしのこ保育園の園児が、介護老人保健施設「鷺巣苑」を訪問。歌や踊りを披露した後、入所者と手遊びをして交流をしました。「いっぽんばーし、こーちょこちょ。」園児たちのかわいい姿に、自然と笑みがこぼれていました。

CONTENTS 

勝山駅前整備

成人式

高齢者虐待予防

HOT話題

平成22年2月12日発行

歴史の散歩道

(112)

越知山の越知神社と平泉寺衆徒献納の石仏

越知山は、丹生山地の中央部に位置する海拔六一三メートルあまりの山であるが、この山は泰澄大師が開いた。この山頂には明治維新まで「越知山大権現社」（越知山三所権現）があった。この社を管理する別当寺が、ここから六キロ東方の大谷村（越前町大谷寺）の大谷寺で、その別当が大長院であった。この関係は白山と平泉寺玄成院との関係と同じである。

近世には福井藩主のみならず、福井や武生・鯖江などの近在の人々が、信仰のために参詣した。明治維新の神仏分離令により、越知山の越知山大権現社は越知神社と改称し、大谷村の大長院は大谷寺（天台宗）と称した。この大谷寺に隣接して越知神社遙拝所が建てられた。

越知山にあった仏教関係の建物は取り壊され、元越知山とよばれる旧地に移築され、泰澄大師像などが移されて安置され、また十一面観世菩薩像・聖観音菩薩像は大谷寺の本尊とされた。

今の越知山は、越知神社の本社を中心に、往時の繁栄を示す拝殿、大師堂、千体地蔵、奥之院、別山社、臥行者旧跡がある。拝殿は慶長十五年（一六一〇）に、福井藩主松



越知神社のある越智山（糸生村飛地が神社境内である）



平泉寺衆徒の寄進した石仏

平秀康が建立し寄進したものである。殿池は山頂であるにもかかわらず、真夏でも豊かな水を蓄えているが、この池が越知の地名の由来となる御池つまり窪地の水たまりの池であろう。

多くの石仏に囲まれる大師堂の周囲の四体、神宝庫の前一体、この五体が平泉寺衆徒の寄進したものである。石仏の阿弥陀如来、薬師如来など種類は異なるが、何れの石仏も右側には「平泉寺惣圓房□□天文十一年」、左側には「為法界衆生也九月吉日」と刻銘されている。戦国期の天文十一年（一五四二）に奉納したものである。ここに石仏を奉納した人物は、丹生郡に拠点をもった平泉寺衆徒であろうか。

参考文献「朝日町誌 通史編」 文化財保護委員 佐野光臣

人口の動き

| | 12月末現在 | 自然動態 | | 社会動態 | | 1月末現在 | 月間増減 |
|-----|---------|------|----|------|----|---------|------|
| | | 出生 | 死亡 | 転入 | 転出 | | |
| 男 | 12,713人 | 6 | 12 | 11 | 15 | 12,703人 | -10人 |
| 女 | 13,880人 | 2 | 17 | 22 | 9 | 13,878人 | -2人 |
| 合計 | 26,593人 | 8 | 29 | 33 | 24 | 26,581人 | -12人 |
| 世帯数 | 8,290世帯 | | | | | 8,304世帯 | 14世帯 |

編集後記
1月末に行われた勝山年の市は、天候にも恵まれ大変多くの人でにぎわいました。やはり一番人気は、「村の達人」中森よしさんでした。多くの人から声をかけられ、99歳とは思えないやりとりに周りの人がみんな思わず笑顔になっていました。2月末には冬の最大イベントである勝山左義長まつりが行われます。勝山に春を告げる伝統のお祭りです。こちらも天候に恵まれ、多くの人で賑わうことを祈ります。

交通事故発生状況

※高齢者=65歳以上

| 件数内訳 | 平成22年1月末 | 前年比 |
|-----------------|-----------|------------|
| 総件数 | 61件 | +7 |
| 人身事故 (うち高齢者) | 8件 (2) | +2 (±0) |
| 死者 (うち高齢者) | 0人 (0) | ±0 (±0) |
| 傷者 | 9人 | +3 |
| 物損事故 | 53件 | +5 |

2月の納税

- 固定資産税▶4期
- 納期限▶3月1日(月)
- 口座振替▶2月26日(金)

広告

広告のお申し込みは
秘書・広報課まで